

令和6年度 社会福祉法人四恩学園 法人本部事業計画

1. 事業計画の概要

中期計画の2年目となり、新型コロナウイルス感染の5類以降に伴い。「結び目」に関する取り組みを大きく飛躍させる1年であったが、不適切ケア・ハラスメント問題が露呈した。会計監査人の交代により、ガバナンス構築の取り組みに着手している矢先に起きた問題であり、支援の在り方や支援の質の向上を推進する組織づくり、人材育成、雇用環境調整が急務である。

このように、内部環境の状況が厳しい状況にある中、外部環境に目を向けても、物価高騰、経済的貧困格差、大規模震災の発生による復興施策の遅れが新型コロナのダメージと合わさり、「人々の生きづらさ」が深刻になっている。

以上の状況を踏まえ、不適切な保育・介護問題の発生、ハラスメント問題から見えてきた法人内部の問題に対して、中期5か年計画の大幅な変更が必要であり、コミュニケーションをベースにした丁寧な組織運営が求められる。今年度は、各種委員会や取り組みを再編し、充実を図り、施策を推進していく。

2. 財務の視点(財務基盤等の安定)

- (1) 寄付募集の強化
児童養護施設建て替え資金集め、情報発信の積極的推進
- (2) 積立資金、修繕積立金の計画立案及び推進
- (3) 公益事業の安定的運営
クラウドファンディングによる地域公益活動資金の確保・協賛企業の発掘
- (4) 不採算事業（高齢事業）の中期資金計画の策定
- (5) 施設財務の安定（各施設の稼働管理、事業費の節約、人件費率管理の徹底）

3. 顧客の視点（サービスの質の向上・新規サービス・環境整備・地域貢献等）

- (1) SDGS の取り組みの推進～ミックスモダンの地域公益事業の推進～
法人間連携の推進（法人間研修連携ネットワーク・若者の起業・NPO 支援）
ごちゃまぜ食堂・ふれあい会食・子ども食堂・地域講演会の継続実施
地域防災拠点としての機能強化及びネットワーク構築
地域ニーズ調査の推進（施設内外での調査実施）
- (2) 児童養護施設本体の建て替え及び地域小規模の開設に向けた委員会実施
- (3) 職員の雇用環境の充実（四恩働き方委員会のプロジェクト）
福利厚生制度の積極的発信
社内報の充実
年間休日の見直し、諸手当の見直し
法人手続き等のデジタル化、業務のデジタル化推進
障がい者雇用の推進
再雇用制度の推進
- (4) 虐待防止、不適切ケアの撲滅
事業評価、サービス評価の積極的推進

各部署の顧客アンケートの実施
支援のチェック等の振り返りの徹底

- (5) 障がい者サービスの立ち上げ
ライフサポート協会との協働事業の実施（退所児童等）

4. 内部統制の視点(働きやすい職場環境・労働環境等)

- (1) ガバナンス構築に向けた各種委員会の再編

リスクマネジメント委員会再編を軸にした、法人各種委員会の推進
情報管理委員会の推進による、施設運営のデジタル化へ基づくり

- (2) リスク・人権等の政策の推進

リスクマネジメント委員会を中心とした、
ケアの質を考える委員会での虐待・不適切ケアの撲滅に向けた、各施設に対
する研修等の支援

- (3) 人材育成・確保・定着の充実

働き方委員会における離職分析、ハラスメント対策の検討
職員満足度調査

人材確保・採用業務の構築

メンタルヘルス施策の推進（産業カウンセラー設置等の職員支援の実施）

- (4) 地域福祉の拠点及び包括支援体制に向けた組織化たまで

ミックスモダン組織活動の再編、下部組織「半熟たまごの会」との連携強化

5. 学習と成長の視点（雇用・人材育成・キャリアアップ等）

- (1) 法人研修体系の確立（四恩人材キャリアセンターの運営）

法人キャリアパスの推進階層別研修の充実（研修体系の構築）

管理職育成研修の実施

基本研修（雇用・虐待・リスク）の実施

オンラインを活用した研修体系の構築

- (2) IT能力向上支援の実施

業務のIT化の推進のため、システム導入・IT教育に関する研修を実施

- (3) リスク・人権等の政策の推進

効率的な研修実施に向けた、オンライン・オンデマンド研修の実施

虐待防止定期的研修の実施